

Ⅲ 魅力ある都市景観を創造するための方針

新港地区では、近代港湾発祥の地としての歴史性を生かし、赤レンガ倉庫をはじめとする歴史的資源を保全・活用した街づくりをすすめてきました。また、中層で広がりのある景観づくりを行い、隣接するみなとみらい 21 中央地区における現代的な超高層ビル群の形成による新しい街づくりと対比させることで、歴史的景観と背後の超高層の街並みが立体的に見え、時間的、空間的な奥行きを感じられる景観をつくってきました。

新港地区の特徴としては、業務・商業が集積した中心地に隣接した立地にありながら、港湾機能を有し、水域に囲まれた“島”として、独自の領域性を持つことが挙げられます。この特徴を生かすため、周辺地区との連続性を保ちながらも、地区の玄関口として意識できるような橋やその周辺を演出し、水際にプロムナードを設けることで、魅力的な水際空間を創出してきました。

このようなこれまでの取り組みを発展させ、さらに、新港地区の特徴を生かした景観形成を図るためには、赤レンガ倉庫への見通し景観の確保や、対岸や海上から見た景観の演出、周辺の超高層ビル群からの見下ろし景観への配慮などが必要となっています。

これら地区の特徴を伸長し、新港地区の街並みをさらに魅力的なものとするため、次の3つの方針に基づき、世界に誇れる横浜の顔となる都市景観づくりを行います。

□魅力ある都市景観を創造するための方針

方針1 みなとの情景の演出

- ①海に向かってゆとりを持ち、連続性が感じられる街並みをつくります。
- ②開放的で居心地のよい水域・水際線の風景をつくります。

方針2 歴史の継承

- ③歴史的シンボルとしての赤レンガ倉庫への見通し景観を守ります。
- ④歴史性を意識し、高さを抑えたまとまりのある街並み景観をつくります。

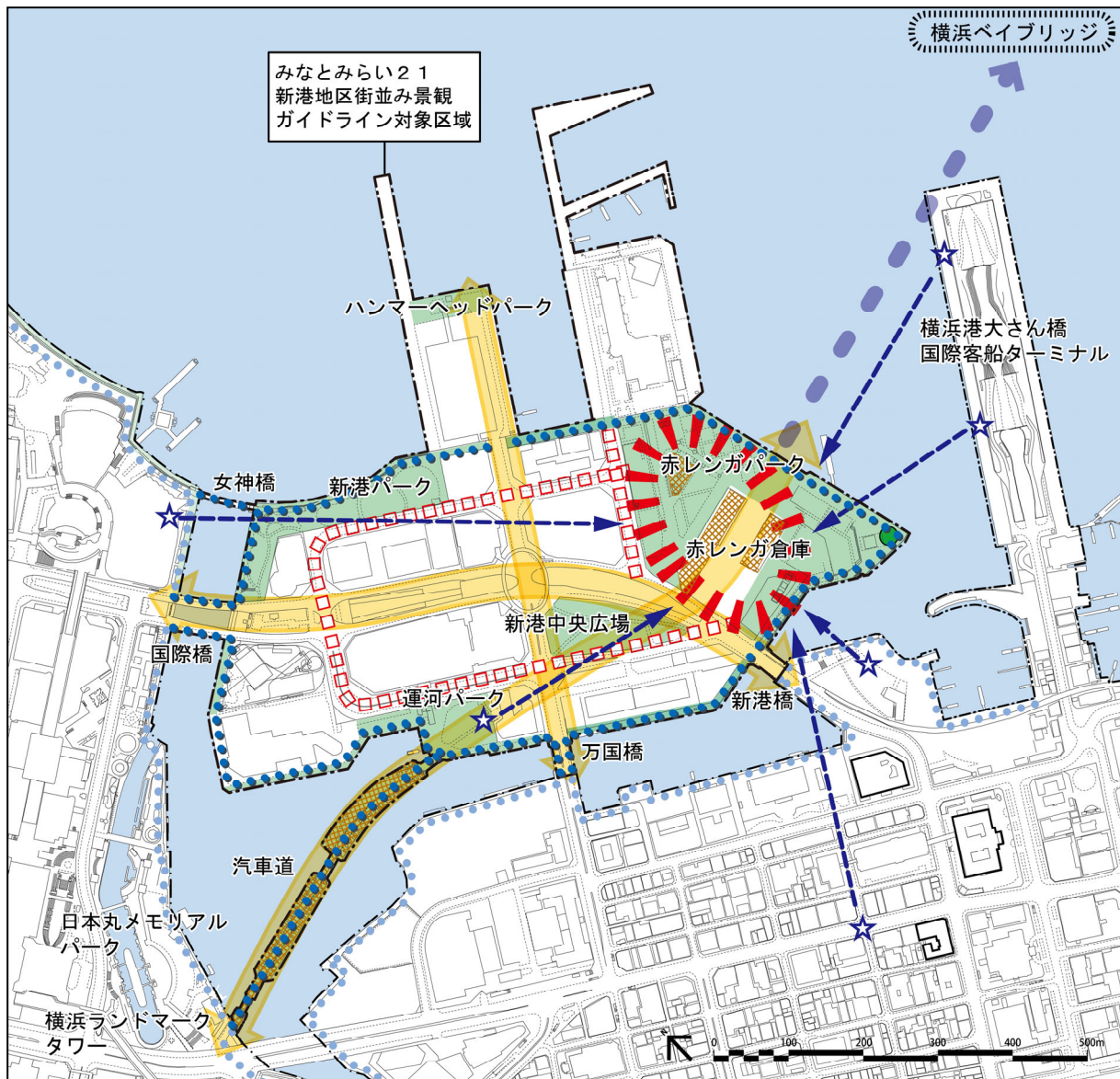
方針3 “島”としての個性の演出

- ⑤歴史やみなとらしさを生かしたシークエンス景観*をつくります。
- ⑥歩いて楽しく、賑わいのある街並みをつくります。
- ⑦周辺地区からの見下ろし景観を意識します。

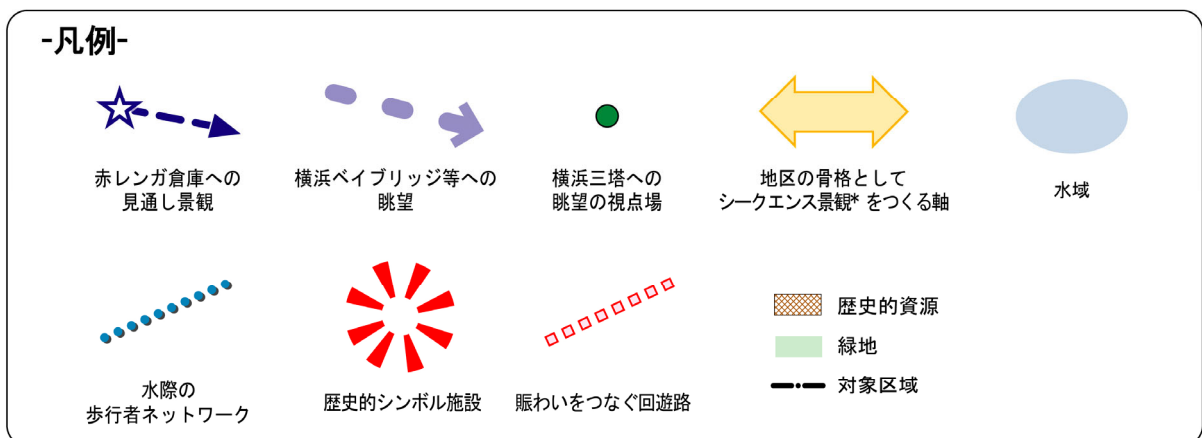
□景観形成項目

- 1 高さに関する事項
- 2 見通し景観の確保に関する事項
- 3 水際空間の確保に関する事項
- 4 街並み形成に関する事項
- 5 建物等のデザインに関する事項
- 6 色彩に関する事項
- 7 屋外広告物に関する事項
- 8 屋根・屋上に関する事項
- 9 駐車場・駐輪施設に関する事項
- 10 夜間景観の演出に関する事項
- 11 道路及び緑地に関する事項
- 12 イベント時の緩和に関する事項

*:シークエンス景観とは「見る人が移動することで変化する一連の景観」を指します



街並み形成概念図



*: 見る人が移動することで変化する一連の景観

方針1 みなとの情景の演出

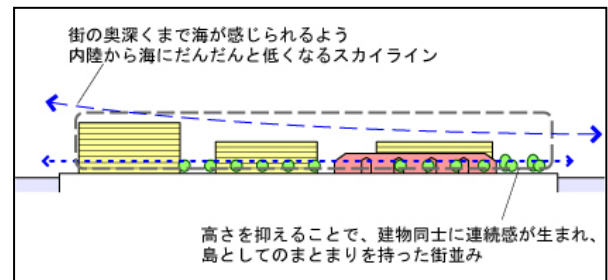
①海に向かってゆとりを持ち、連続性が感じられる街並みをつくります。

街並みの連続性をつくりながら、内陸から海に向かってゆるやかに建物の高さや密度を変化させることで、街の奥深くまで海が感じられる街並みを目指します。

同時に、海に面する緑地等にゆとりのある空間を設け、海への開放感が感じられる街並みをつくります。

【対応する景観形成項目】

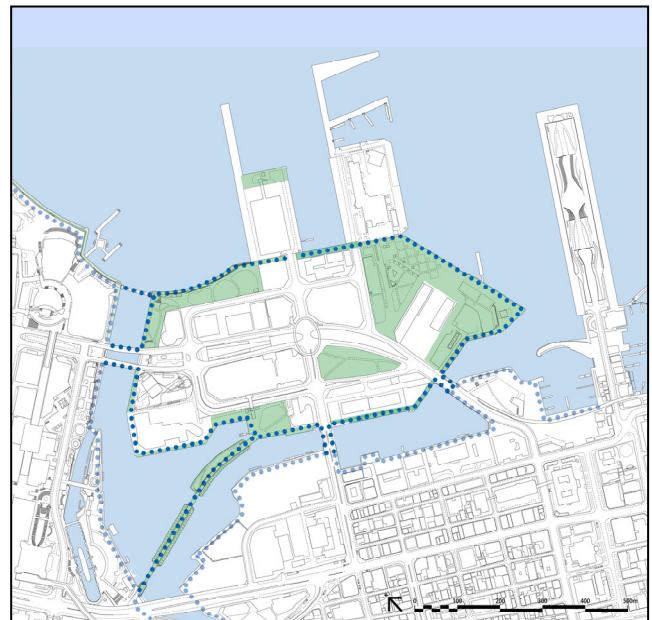
- 1 高さに関する事項
- 3 水際空間の確保に関する事項
- 11 道路及び緑地に関する事項



②開放的で居心地のよい水域・水際線の風景をつくります。

水際線を歩行者空間として開放し、建物は水域に対して表情をつくることで、魅力的な水辺空間を目指します。

また、水域を囲んで隣接するみなとみらい21中央地区や関内地区の対岸からの眺望を意識した空間形成を図り、落ち着いた居心地の良い水際空間を目指します。



【対応する景観形成項目】

- 3 水際空間の確保に関する事項
- 11 道路及び緑地に関する事項

方針2 歴史の継承

③歴史的シンボルとしての赤レンガ倉庫への見通し景観を守ります。

新港地区には古くから港湾機能があり、赤レンガ倉庫はみなとまち横浜の歴史を表す象徴的な建物です。

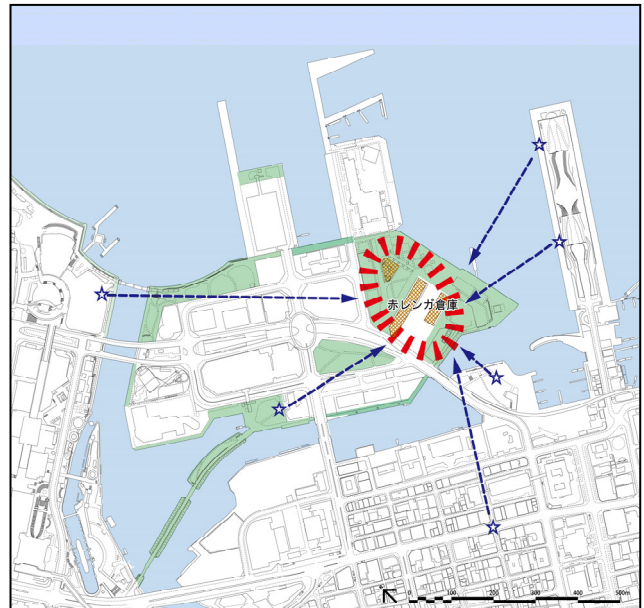
地区内外で赤レンガ倉庫を望むことのできる場所を視点場とし、各視点場からの見通し景観を守ります。



赤レンガ倉庫

【対応する景観形成項目】

- 2 見通し景観の確保に関する事項
- 11 道路及び緑地に関する事項

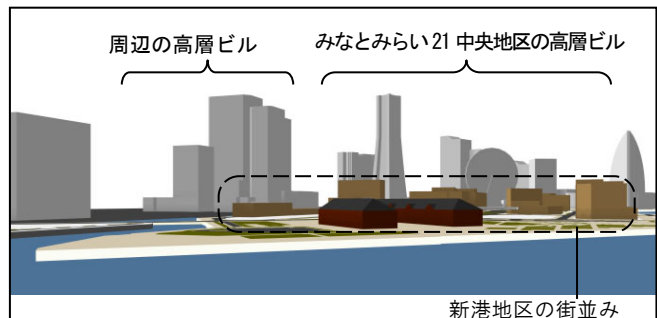


歴史的シンボル施設（赤レンガ倉庫）と視点場

④歴史性を意識し、高さを抑えたまとまりある街並み景観をつくります。

新港地区では、赤レンガ倉庫を地区の歴史的シンボルとした街並み形成を行います。海から見た構成として、赤レンガ倉庫を中心として比較的low層の建物が群として景観を形成しています。

赤レンガ倉庫を中心に、新港橋や自動車などの歴史性を意識し、高さを抑えた建物群により特徴的な景観形成をします。



新港地区の街並み

海からの景観構成

【対応する景観形成項目】

- 1 高さに関する事項
- 5 建物等のデザインに関する事項
- 6 色彩に関する事項
- 7 屋外広告物に関する事項
- 10 夜間景観の演出に関する事項



新港橋

自動車

赤レンガ倉庫と旧税関跡

地区内の歴史的資源の例

方針3 “島”としての個性の演出

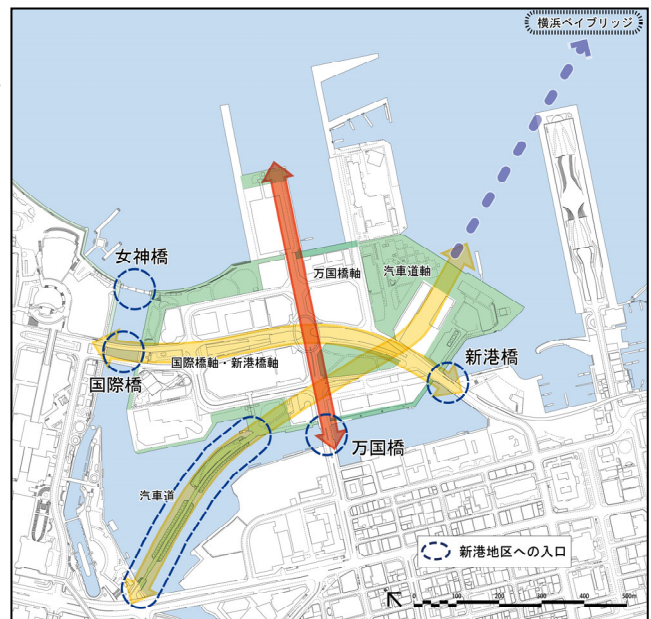
⑤歴史やみなとらしさを生かしたシーケンス景観*をつくります。

*：見る人が移動することで変化する一連の景観

新港地区は、みなとみらい 21 中央地区と関内地区に接し、常に人の流れが生まれる地区です。新港地区の入口となる自動車道、万国橋、新港橋、国際橋、女神橋を起点として、沿道景観や歴史的資源への通景、海やベイブリッジ等への視線の抜け、船等のみなどの情景を感じられる景観、背景となる周辺市街地など、各軸の特徴を生かした景観の移り変わりを演出します。

【対応する景観形成項目】

- 1 高さに関する事項
- 2 見通し景観の確保に関する事項
- 4 街並み形成に関する事項
- 5 建物等のデザインに関する事項
- 11 道路及び緑地に関する事項



景観の骨格となる3つの軸

自動車道軸：自動車道から赤レンガ倉庫へとつながり、正面にはベイブリッジを望む、過去～現在をつなぐ歴史の軸



万国橋軸：馬車道から連続し、新港地区の中央を真っ直ぐに貫く、新港地区のシンボルとなる軸



国際橋・新港橋軸：みなとみらい 21 中央地区、新港地区、関内地区を結ぶ、横浜のみなとをつなぐ軸



⑥歩いて楽しく、賑わいのある街並みをつくります。

建物低層部に楽しい活動や多様な機能を配置し、開放性をもたせることで、街に連続性のある賑わいと活気を創出し、歩いて楽しい街並みを目指します。

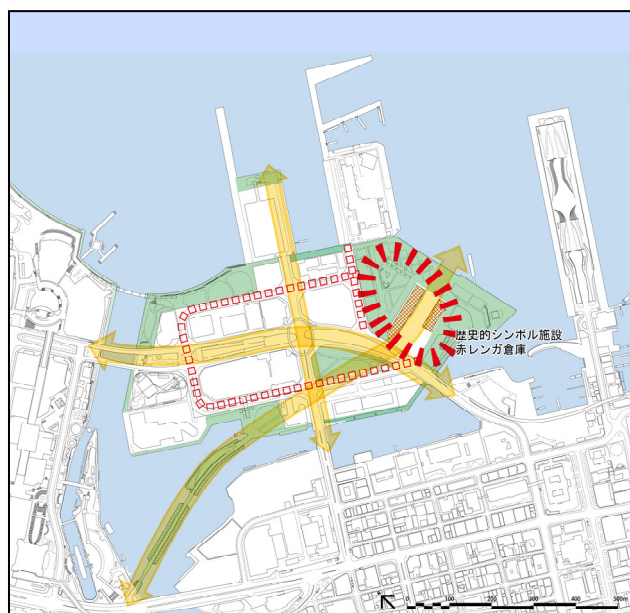
“島”を感じられるような、地区内の回遊性を高めます。



賑わいをつくる建物低層部

【対応する景観形成項目】

- 4 街並み形成に関する事項
- 7 屋外広告物に関する事項
- 9 駐車場・駐輪施設に関する事項
- 10 夜間景観の演出に関する事項



賑わいをつなぐ街並みの形成

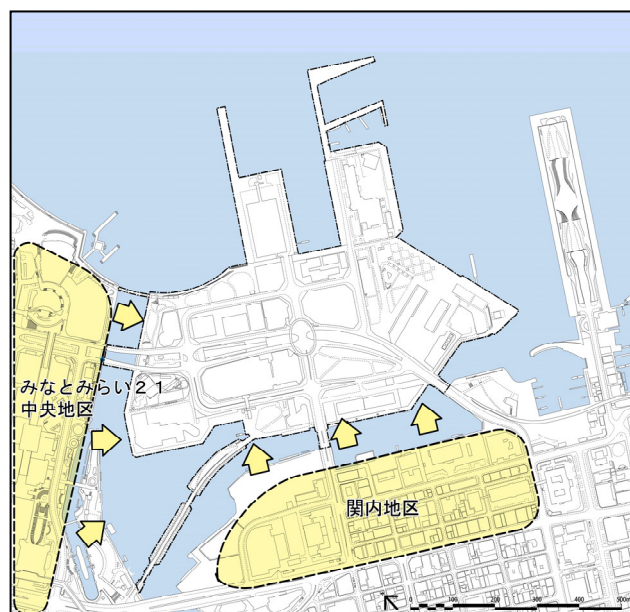
⑦周辺地区からの見下ろし景観を意識します。

新港地区は、隣接する高層建築群からの眺望景観として、海やその先に広がる遠景に対する近景として見下ろされることとなります。

この見下ろし景観を積極的に演出することで、“島”としてのまとまりをつくります。



横浜ランドマークタワーからの眺望



新港地区を見下ろす高層建築群

【対応する景観形成項目】

- 7 屋外広告物に関する事項
- 8 屋根・屋上に関する事項

